



安全な雪下ろしのために

屋根雪下ろし 命綱固定アンカー ガイドブック

(第4版)

「命綱固定アンカー」とは、
命綱を住宅に結ぶための設備です。



新潟県



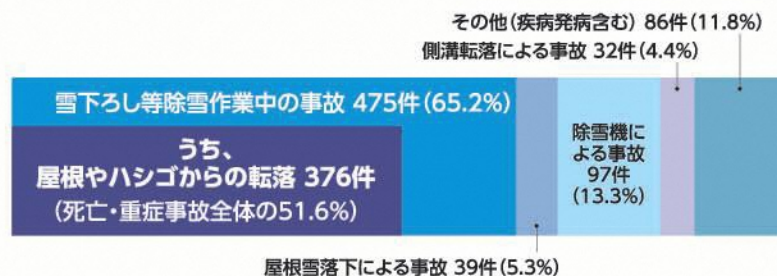
命綱を知っています

Do you know?

1

屋根雪下ろし中の 重大事故が多発しています

県内では、平成25年度から令和4年度の10年間に雪による死亡・重症事故が729件発生し、そのうち「雪下ろし等除雪作業中の事故」が475件(65.2%)と最も大きな割合を占めています。除雪作業中の事故の中でも、「屋根やハシゴからの転落」が376件と最も多く、死亡・重傷事故全体の半数以上を占めています。



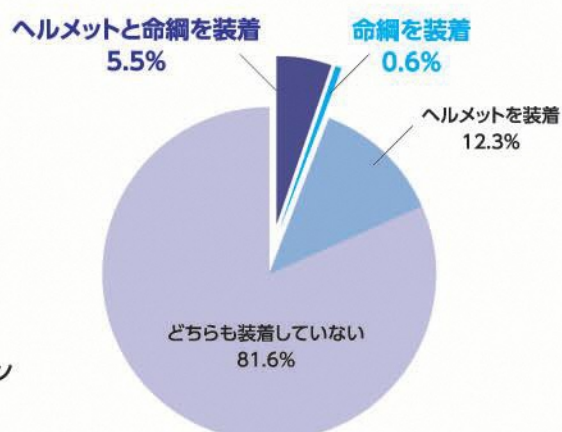
雪による人的被害の原因別内訳(平成25年度～令和4年度) 新潟県調査

Do you know?

2

事故を防ぐための 命綱はほとんど 使われていません

屋根雪下ろしは、高所作業であり、転落防止のための命綱の装着は必須です。しかし、県内の特別豪雪地帯市町村を対象に、県が令和3年に実施した「県民アンケート調査」では、命綱を着用したと回答した割合は、わずか6.1%でした。



屋根雪下ろしを行うとき、ヘルメットと命綱を装着しているかアンケート調査した結果 R3新潟県調査

はじめに

豪雪地帯である新潟県では、毎年複数回の屋根雪下ろしが必要になる地域も多く、屋根雪下ろしに起因する事故が多発しています。

県は、屋根雪下ろしが不要な**克雪住宅**の普及を進めていますが、屋根雪下ろしが必要な住宅をゼロにすることはできていません。そのため、県は、屋根雪下ろしが必要な住宅等を管理・居住される方には、適切な安全対策を実践していただきたいと考えています。

本ガイドブックでは、**命綱**を適切に使用するために不可欠な**アンカー**（命綱を住宅に結ぶための設備）や、安全に屋根雪下ろしを行う方法などについて説明していますので、ぜひ参考になさってください。

か？ — Do you know how to use life ropes? —

Do you know?

3

命綱を適切に使うためには正しい知識が必要です

命綱といっても、ただロープがあれば良いわけではありません。

命綱は、安全帯、アンカーとあわせて使用することで効果を発揮します。

身体に命綱を直接結び付けると、万一転落した際に、衝撃で命綱を結んだ部分で骨折したり内臓や神経を傷めたりするおそれがあり危険です。

そのため、**安全帯**（墜落制止用器具）を身体に装着し、安全帯に命綱を繋ぐことが有効です。安全帯には転落時の衝撃を吸収するショックアブソーバーが付いており、転落時に身体にかかる負担を軽減してくれます。

命綱として使用するロープは、登山用ザイル（直径8mm以上）など、強度があって滑りにくく結び目がほどこけにくいものを選んでください。

ナイロンロープ（いわゆるトラロープ）は、強度が不十分で滑りやすいため命綱として使うことはできません。

命綱は、屋根から身体がはみ出さない長さ（通常は5m程度）があれば十分です。命綱が長すぎると、滑った際に制止までの距離が長くなる（加速する）だけでなく、首などに巻き付くおそれがあり危険です。

また、命綱を建物に結ぶための設備（**アンカー**）を事前に屋根上に設置することで、雪下ろし作業中の安全を確保することができます。

①安全帯、②命綱、③アンカー
の3つがそろえることが大事
なんだわん！



安全帯

命綱と身体を繋ぐ
身体にかかる負担を軽減

命綱

転落防止のために
十分な性能を持つロープ

アンカー

命綱と建物を繋ぐ



次ページから
安全な雪下ろしについて
考えます→



安全な雪下ろしについて考えましょう

① 屋根雪下ろしのため



用 具		主な販売店	購入費用の例
ヘルメット (帽子)	落雪や転倒時に頭部を保護するためヘルメットを着用しましょう。ヘルメットの下に防寒用の帽子をかぶる方法もあります。	ホームセンター など	4,000円程度
手袋	薄手で防水性に優れたゴム製の手袋が作業に適しています。ゴム手袋の下に防寒用の手袋(軍手など)を重ねる方法もあります。		
防寒具	薄手で防水性に優れたものが作業に適しています。衣類は、薄手のものを重ね着し、着脱により温度調整しましょう。		
長靴	長靴は、防寒性があり靴底の溝が深いものが、滑りにくく作業に適しています。「かんじき」を使用することも有効です。		
安全帯 (墜落制止用器具)	安全帯は命綱を体に結ぶために使用します。チェストハーネス(胴ベルト)、フルハーネスなどの種類のほか、「越後雪かき道場」監修のシートハーネス(P4参照)もあります。		8,000円～ 20,000円程度
カラビナ	カラビナは命綱を安全帯やアンカーにつなぐために使用します。金属リングの一部が開閉することで、素早く確実に繋がります。	ホームセンター 登山用品店 など	1,000円～ 2,000円程度
命綱	命綱として使用するロープは、強度があって、滑りにくく、結び目がほどこけにくい材質のものを使用しましょう。	登山用品店 など	登山用ザイル (φ8mm/5m) 1,500円程度
ブレーキ (必要に応じて)	ブレーキは登山用品で、命綱の長さ調整に使用し、宙吊りを防ぎます。		4,000円程度

Point

- 屋根雪下ろしを安全・快適に行うための装備をそろえましょう。
- 屋根雪下ろしは激しい運動です。体調の悪いときに作業しないことはもちろん、作業前に準備運動などで体を慣らしてから作業を行いましょう。

の装備をそろえましょう

あると便利な
おすすめ装備を
紹介するわん



カラビナ（クライミング用）

一部分が開閉可能な金属リングです。
命綱を安全帯やアンカーに素早く確実に繋ぐことができます。



ブレーキ（登山用）

※ロープワークで
代用可能

金具の内側にロープに食い込む突起があり、力をかけると止まります。登れるが下がらないつくりになっています。



雪下ろし用の安全帯（シットハーネス）

【越後雪かき道場*監修】

除雪作業の安全教育や実践講習を行っている「越後雪かき道場*」の監修による、腰と太ももを固定するタイプの安全帯（シットハーネス）です。荷重が胴部に集中しない、装着しやすい、安価といった特徴があります。お近くに販売店がない場合は、下記にお問い合わせください。

NPO法人
中越防災フロンティア
電話／0258-59-2308



腰と太ももの3点で固定。

命綱をつなぐリングを前後に装備。単独作業の場合は前を使用。



履き方が分かりやすいパンツ型。



束ねた命綱や装備品をまとめるアクセサリリング。

尻もちをついても滑りにくいゴム帯。

Column 1

なぜ、必要な装備を紹介したり、アンカーの設置を推奨するの？

→新潟県には「新潟県住宅の屋根雪対策条例」があるからです

県は、全国で唯一、屋根雪による事故ゼロを目指して「新潟県住宅の屋根雪対策条例」を平成24年10月に制定しています。条例には屋根雪対策に対する基本理念と、県や県民がそれぞれの役割で取り組む3つの施策を定めています。

屋根雪対策の基本理念

- 屋根雪対策は県民及び所有者等が自主的及び主体的に取り組み、連携・協力することにより行うことを基本とする。
- 屋根雪下ろしは、危険を伴う作業であり、安全確保の必要性を認識して行うことを基本とする。

取り組む3つの施策

①雪に強い住宅にしよう ～克雪住宅～

屋根雪下ろしに伴う事故を防止するためには、屋根雪下ろしが不要な「克雪住宅」にすることが有効な対策となります。

②屋根の雪下ろし対策は安全対策を万全に！

「一人でしない 無理しない 落雪・転落気をつけて」屋根雪下ろしは安全対策を怠ると大きな事故につながります。十分な準備を行い、作業中も安全管理をしっかりと行いましょう。

③空き家の屋根雪下ろしも忘れずに

空き家の屋根雪が放置されて、倒壊等により隣家住民などに危害を及ぼす事故が例年発生しています。空き家の所有者や管理者は、屋根雪下ろしなど必要な管理を行って下さい。

安全な
屋根雪下ろしを
勧めているんだね！



Point

- 県は、住宅を新築する際、屋根雪下ろしが不要となる克雪住宅を推奨しています。克雪住宅を選択しない場合には、安全対策が不可欠です。
- アンカーはあらかじめ住宅の屋根に取り付けておく必要があります。雪が降る前から検討しましょう。

安全な雪下ろしについて考えましょう

② 「危険ゾーン」での作業を避けましょう

屋根の端部は、バランスを崩すと転落につながる「危険ゾーン」です。

また、ハシゴからの転落も多数発生しており、ハシゴも「危険ゾーン」です。「危険ゾーン(下図参照)」での作業は行わないでください。

屋根の向きや周囲の状況によって異なるため一例となりますが、雪下ろしの作業順序をお示しするので、参考にしてください。



【おすすめ】安全な雪下ろしの作業順序

- ① 可動式ハシゴを使用する場合は、ハシゴの脚を雪に埋めて踏み固め、動かないようにする。
- ② 雪下ろしに使用する道具は手に持たず、道具にロープを結び、もう一方のロープの端はカラビナ等で安全帯に繋ぐ。
- ③ 屋根に上ってからロープで道具を引き上げる。
- ④ 棟の中央部に向かい、(雪に埋まっている場合は掘り出して)アンカーに命綱(ロープ)を結ぶ。
- ⑤ **体が屋根の端からはみ出さないように、命綱の長さを調整する。【重要】**
- ⑥ 屋根の中央部を下方に向かって軒先まで掘り進み、軒先の位置を確認。
- ⑦ 道具(ダンプ)を雪に差し入れ、下方に滑らせて雪を落とす。体を横向きにして屋根と平行に掘り進む。
- ⑧ 屋根端部の雪は、作業ゾーンから危険ゾーンに道具を差し出して落とす。(妻側の屋根端部の雪を最後に落とす)



Point

- 雪を取りすぎると、屋根葺材を傷めたり、足元が滑りやすくなるため、屋根には15~20cmの雪を残しましょう。
- 「危険ゾーン(屋根の端部)に立たない」、「危険ゾーンの雪は、作業ゾーンから道具を差し出して落とす」ことが安全な雪下ろしの基本です。

Column 2

安全ハシゴの開発も進んでいます

ハシゴからの転落防止のため、ハシゴを跨いでまっすぐ屋根に乗り移れるように手がかり棒がついた「雪下ろし用安全ハシゴ」が販売されています。魚沼市など安全ハシゴの購入費用に補助を行っている市町村もあります。

安全ハシゴ



③ 「危険ゾーン」を避けるためのアンカーの設置位置

専用のアンカーは屋根雪下ろし作業に使いやすいように設置位置や材料が工夫されています。

例えば、専用アンカーの代わりに命綱をつなぐ設備として雪止めアングルを利用する方法も考えられますが、「雪が積もると見つけにくい」、「使いたい場所に設置されていない」、「屋根との隙間が狭くロープを通しにくい」など、使いにくい点があります。「危険ゾーン」での作業を避けながら安全に作業をするために、**屋根の棟部分に、専用の材料で専用のアンカーを設置**することを推奨しています。

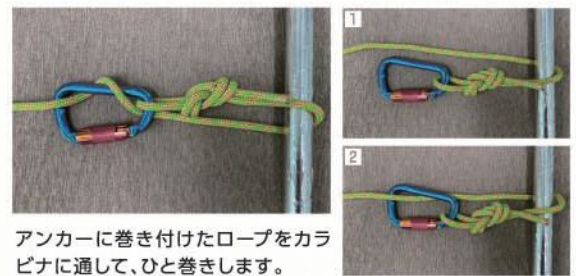


	命綱固定アンカー	雪止めアングル
設置位置	【棟部分】 ・積雪時でも見つけやすい ・屋根全面を動きやすい	【軒先】 ・積雪時に位置がわかりにくい ・転落時に宙づりになるおそれあり
横架材	【単管パイプ】 ・命綱を繋ぎやすい ・横移動しやすい	【アングル】 ・屋根面との隙間が小さく、命綱を繋ぎにくい

④ 覚えるべきロープワーク

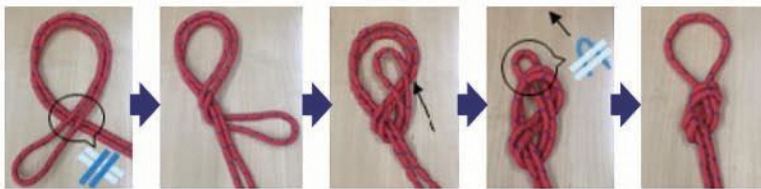
「命綱」は、屋根雪下ろしの作業中にバランスを崩して転倒した場合でも、**身体が屋根の上に留まる長さ**に調整して使用することが**重要**です。宙吊り状態からの自力脱出は困難であることから、宙吊りになるリスクを避けてください。命綱の長さは途中で作った輪を「カラビナ」に掛けて調整したり、命綱の途中で付けた「ブレイキ」に安全帯のフックを掛けて調整したりします。

フリクション ※ アンカーに繋ぐときに使います。



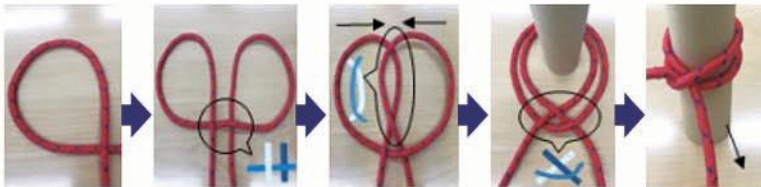
エイトノット ※ ロープワークの基本です。ぜひ、習得してください。

カラビナにかける輪を作るための基本技です。命綱の長さ調整にも使えます。強い力がかかっても固結びになってほじけなくなることがありません。



インクノット（巻き結び）

柱などにロープを結びつけるための基本技です。命綱をアンカーや道具に結び付けるときに使います。結び目が単純なので、ほじけ止めを施すとより安心です。



もっと安全な雪下ろしについて知りたい人は…



越後雪かき道場® が発行する
「雪かき道 越後流指南書」
を参照してください



Column 3 新築時に屋根雪をどのように処理するか考えましょう

自宅の**新築**に際し、克雪住宅を選択せず、必要に応じて屋根雪下ろしを行うと決める場合は、**アンカーを設置することをあわせてご検討ください**。新築時であれば、屋根工事に含めて施工できるため、安価にアンカーを設置できます。

アンカーの設置を検討しましょう

自力で屋根雪下ろしができない要援護世帯などが業者に屋根雪下ろしを依頼することは、雪国では一般的です。要援護世帯に除雪費補助を行う市町村もあります。

Question?

今まで屋根雪下ろしを業者に頼んでいましたが、アンカーが付いていないと依頼できなくなるのですか？

Answer!

アンカーを確保できずに依頼を断る業者が増えています。屋根にアンカーがあれば安心して業者に依頼できます。

業者は、命綱と命綱を有効に使用するため必要な安全帯を用意できます。しかし、アンカーは現地で確保するものであり、本来、業者ではなく依頼主が用意するものです。命綱を使用して安全な作業を行えないと判断した業者は、屋根雪下ろしの依頼を受けることはありません。屋根に専用のアンカーがない場合でも、ロープなどを駆使してアンカーを確保できる業者（特殊な技能を有する専門業者）もあります。例えば、棟を挟んで反対側の立木や車両に固定したロープを仮設のアンカーにしたり、屋根に設置した仮設柱（スタンション）や固定金具（クランプ）にロープを張って仮設のアンカーにしたりします。屋根の雪止めアングルや下の階の柱などをアンカーとして利用する場合もあります。しかし、特殊な技能を有する専門業者は少なく、仮設のアンカーを確保するためには手間がかかるため、費用が高くなったり、必要な時に屋根雪下ろしを依頼できなくなったりすることなども想定されます。そのため、安全確保が容易な専用のアンカーを屋根にあらかじめ設置することは、依頼主や業者の安心につながります。

作業する屋根の反対側の立木に結んだロープをアンカーとして使用する例

屋根に仮設した金具に張ったロープ（親綱）をアンカーとして使用する例



Point

- 「アンカーを確保可能か」など現場の状況を雪下ろし依頼先の業者に確認してもらうなど、降雪前に準備しましょう。

Column 4

法律の規制（労働安全衛生法）

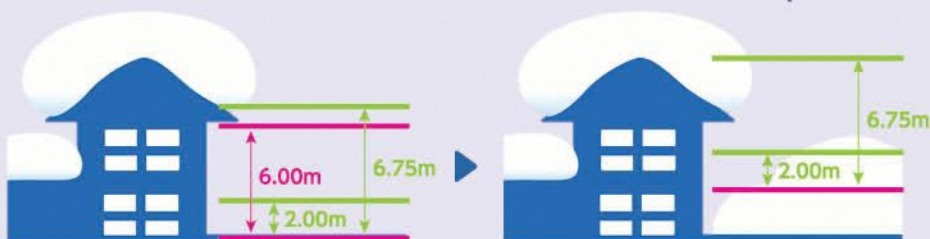
労働安全衛生法は、労働者が安全に業務を行えるように雇用主が守るべきことを定めた法律です。この法律では、墜落のおそれがある作業をする労働者に対して「雇用主は墜落制止用器具（安全帯）を使用させなければならない」と定めています。そのため、屋根雪下ろしを業者に依頼する場合、業者は適切に安全帯を使用できると判断できなければ作業を請け負うことができません。

業者は墜落の危険度に応じた適切な安全帯を使用しています（労働安全衛生規則）。

- 2.00m以上の高さから墜落する可能性がある場合は、少なくとも**胴ベルト型**の安全帯を使用
- 6.75m以上の高さから墜落する可能性がある場合は、**フルハーネス型**の安全帯を使用

一般的な木造2階建て住宅の軒高は6.0m程度なので、大屋根の雪下ろしは墜落の危険度が高い作業です。また、屋根からの墜落の約半数はコンクリートなど**硬い場所に落ちたため、重大事故になっています。**

万一墜落した場合にも、重大事故を防ぐため、屋根雪下ろしを行う際は**建物周囲の雪を残しましょう。**



アンカーは、「命綱を結ぶ横架材の種類」、「横架材を建物に固定する位置」、「横架材の高さ」などの選択の組み合わせにより、様々な種類があります。

横架材の種類 支柱や設置用金具の間に、横に渡す部材（横架材）は大きく分けて「単管パイプ」と「ワイヤー」があり、それぞれ特徴があります。

単管パイプの施工例



- 材料が入手しやすく、強度があり劣化しにくい
- × 自重が重く支柱等に負荷がかかる、一定間隔で支柱や継手が必要

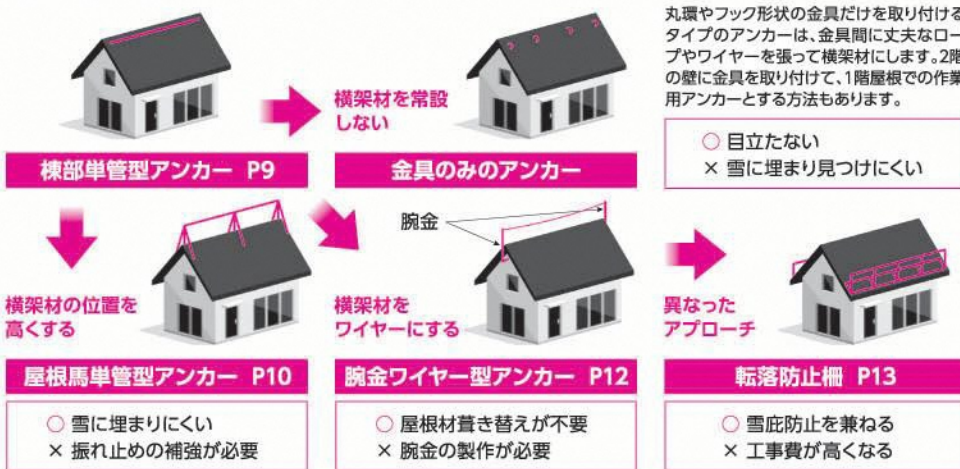
ワイヤーの施工例



- 継手がなく、移動しやすい。目立ちにくい
- × 時間の経過でゆるむおそれがあり、メンテナンスが必要

主なアンカーの種類

アンカーは各地の工務店などが創意工夫して設置しているため、組み合わせにより様々な種類があります。どの種類のアンカーを設置するかは、それぞれのメリットとデメリットを検討して、工務店などと相談しながら決めてください。



命綱を結ぶ横架材の位置を高くすると、屋根雪下ろしの前に掘り出す必要がなくなります。横架材は下をくぐる位置まで高くすると作業効率も良くなります。ただし、横架材の位置を高くすると、支柱部分に大きな力がかかるため、補強が必要になり工事費が高くなります。また、住宅の外観を損なう、と嫌う人もいます。

アンカー設置用金具の販売開始！

アンカー設置用金具は、工務店などが建設資材を加工して自作していましたが、令和3年に三条市の「有限会社 鈴文」から既製のアンカー設置用金具が発売されました。今後は既製品も増えると期待されます。



次ページからは
アンカーの施工事例
について紹介します



Question?

様々な種類のアンカーがありますが、どのように選べばよいのでしょうか？

Answer!

設置するアンカーは、工務店などと相談しながら、屋根形状、使い勝手、費用、外観などから総合的に選んでください。

Point

- 創意工夫の結果、アンカーの種類によってよい点、悪い点があります。
- 屋根の形状や設置費用を考慮しつつ、メリットとデメリットを比較し、設置するアンカーの種類を決めましょう。

施工しやすく、目立ちにくい

単管パイプを棟部分に金具で取り付けしたアンカー。
棟に沿って設置することから目立ちにくく、アン
カー設置後の外観にも違和感は少ない。
雪止め金具を利用して設置するため、多くの工務店
が施工可能。
専用金具の開発も進んでいる。

■ 工期	： 約1週間	設置事例データ
■ 工事費	： 約12万円	
■ 主な使用材料	： 単管パイプ、単管パイプ取付用金物 (雪止め金物と単管クランプを加工)	
■ 屋根との固定方法	： 雪止めアングル用の金具を利用して固定	
■ 同時利用人数	： 2人程度	

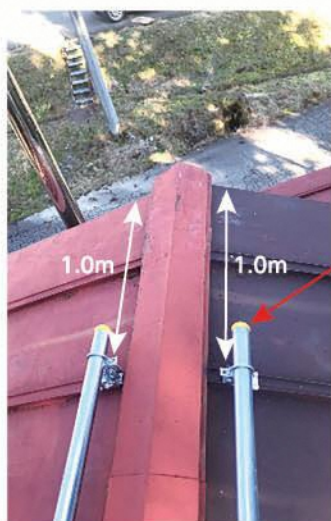


平葺き金属屋根に取付。



互葺き金属屋根に取付。

〈無雪期の様子〉



屋根端部を把握するため屋根端から1mの位置で単管を止める。
単管端に付けた黄色いキャップが危険ゾーンの目印。



アンカーを掘り出す。



〈使用状況〉

【固定部分】
施工例では、屋根への
固定金具に、既製品を
使用。
金具製作や、屋根材の
部分葺き替えが不要
になることで、短期間
での施工が可能。



現地確認

2日

材料 調達・制作

4日

施工

1日

- 屋根形状を確認。
位置、設置金具を検討。

- 雪止め金具等を使用して、単管パイプ固定用の金具を製作。
- 写真の住宅では有限会社鈴文の金具を使用したもので、製作期間は不要。

※材料には、耐候性の高い溶融亜鉛メッキ処理を実施。 ※記載内容は、あくまで設置事例における情報。

材料の入手が容易でメンテナンスが楽

支柱、横架材ともに単管を用いたアンカー。

材料は、ホームセンター等で販売されているため、入手が容易。

加工が少なく設置までの期間が短い。

老朽化した場合も、一部部材の交換が可能であり、メンテナンスが容易。

■ 工期	： 約1週間	設置事例データ
■ 工事費	： 約15万円	
■ 主な使用材料	： 単管、T型ジョイント、 雪止め金具（支柱、横架材の固定に使用）	
■ 屋根との固定方法	： 瓦棒へ雪止め金具により固定	
■ 同時利用人数	： 6人程度	



瓦棒用雪止め金具



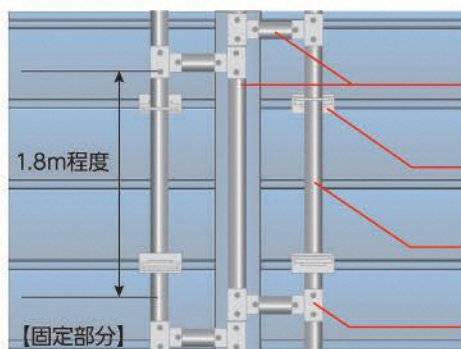
T型ジョイントφ40mm



〈使用状況〉



〈無雪期の様子〉

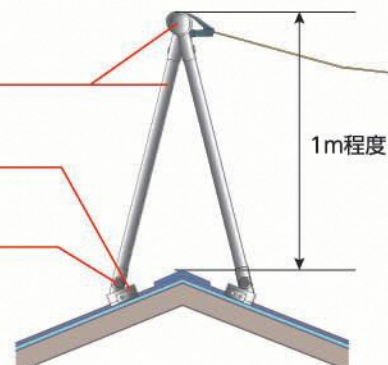


単管
(φ40mm程度)

瓦棒用
雪止め金具

単管
(φ40mm程度)

T型ジョイント



現地確認・計画

2日

材料 調達・制作

5日

施工

1日

- 屋根形状を確認。
位置、設置金具を検討。

- 資材、金具はホームセンターで調達可能。
- 材料の加工等は不要のため、施工までの準備期間が短い。

※記載内容は、あくまで設置事例における情報。

目立ちにくく屋根を痛めにくい

鋼材を組み上げた2本の支柱を屋根の上に設置し、その間にワイヤーを張るアンカー。
アンテナと同じ程度の寸法・形状であることから目立ちにくく、設置後の外観にも違和感は少ない。
瓦棒に取り付けるため、屋根を傷めにくい。

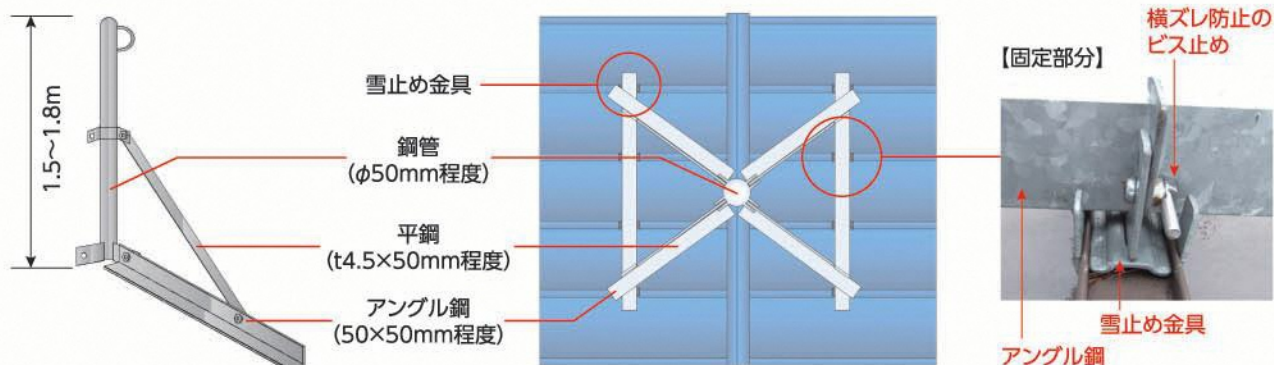
■ 工期	： 約1カ月
■ 工事費	： 約12万円
■ 主な使用材料	： アングル鋼、平鋼、鋼管(支柱材として利用、要加工)、ワイヤー
■ 屋根との固定方法	： 瓦棒とアングル鋼を金具により固定
■ 同時利用人数	： 2人程度

設置事例データ



〈使用状況〉

〈無雪期の様子〉



現地確認

2日

材料 調達・制作

20日

施工

1日

- 屋根形状を確認。
位置、設置金具を検討。

- 支柱は鋼材を加工して作成。
- 溶融亜鉛メッキ等の防錆処理。

※材料には、耐候性の高い溶融亜鉛メッキ処理を実施。 ※記載内容は、あくまで設置事例における情報。

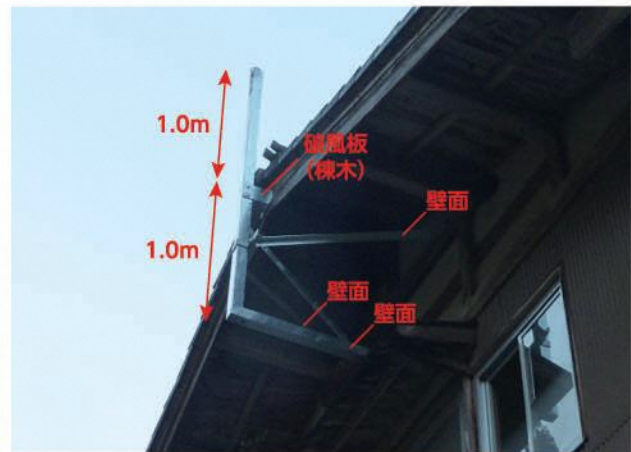
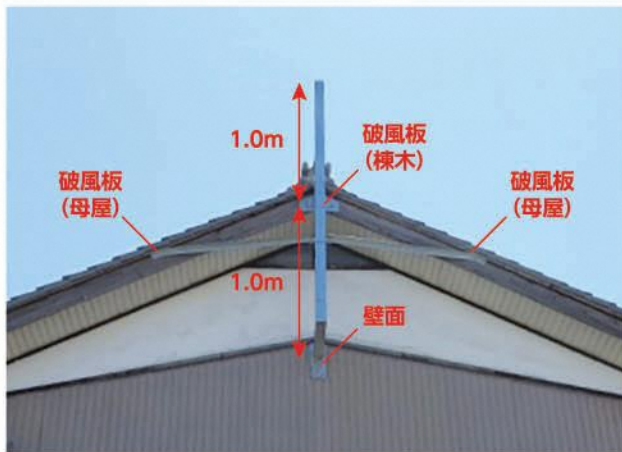
瓦屋根に設置可能で移動範囲が広い

屋根の妻側にある破風板や壁面に支柱となる金物(腕金)を固定し、支柱の間にワイヤーを張るアンカー。

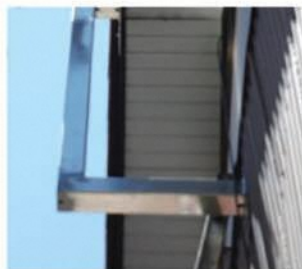
雪止め用金具を使用できない瓦屋根でも、葺き替えの必要がない。

命綱を付けたまま移動できる範囲が広い。

■ 工期	： 約1カ月	設置事例データ
■ 工事費	： 約15万円	
■ 主な使用材料	： 角パイプ、平鋼(支柱材として利用、要加工)、ワイヤー	
■ 屋根との固定方法	： 妻面の破風板および壁面にコーチスクリュー止め	
■ 同時利用人数	： 2人程度	



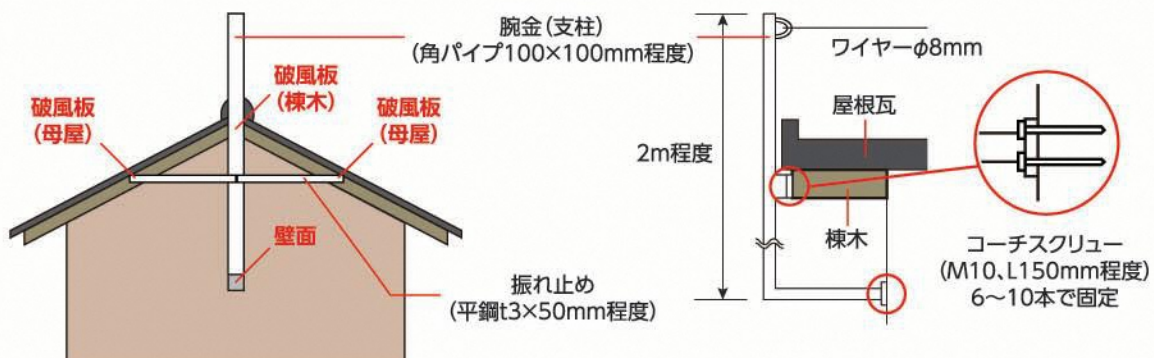
【固定部分】



破風と下屋に固定するタイプ



〈無雪期の様子〉



現地確認

2日

- 軒の深さや破風・母屋の状況を確認。
- 妻面に隣接する建物の確認。

材料 調達・制作

20日

- 支柱は鋼材を加工して作成。
- 溶融亜鉛メッキ等の防錆処理。

施工

1日

- 設置個所の状況によっては仮設足場が必要。

※材料には、耐候性の高い溶融亜鉛メッキ処理を実施。 ※記載内容は、あくまで設置事例における情報。

既存の雪止めアングルに容易に固定

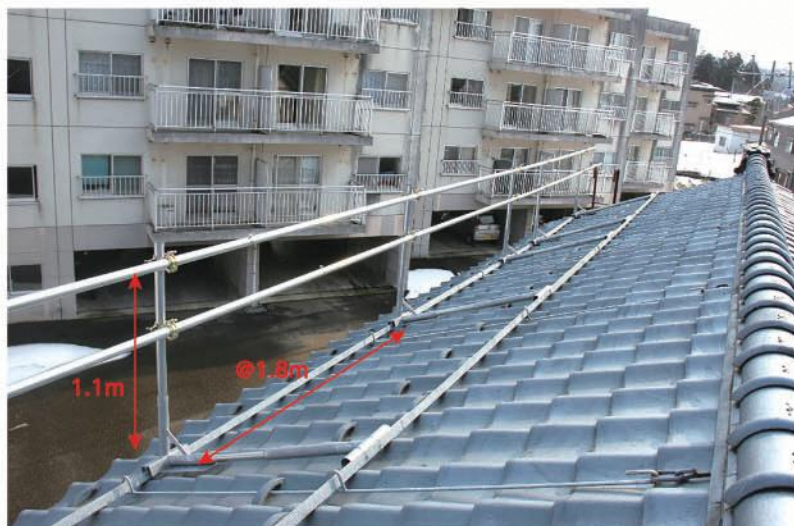
既設の雪止めアングルを利用する固定金物を使用した、転落防止柵。

接続金物以外は、市販の材料を利用。

柵形状の工夫で、雪底防止の機能を持たせることも可能。

柵形状によって、投雪口設置が必要。

■ 工期	： 約2カ月	設置事例データ
■ 工事費	： 約4万円/1間(1.8m)	
■ 主な使用材料	： 転落防止柵接続金物、単管パイプ、直交クランプ	
■ 屋根との固定方法	： 転落防止柵接続金物を既存雪止めアングルと固定する	
■ 同時利用人数	： 多人数で作業が可能	

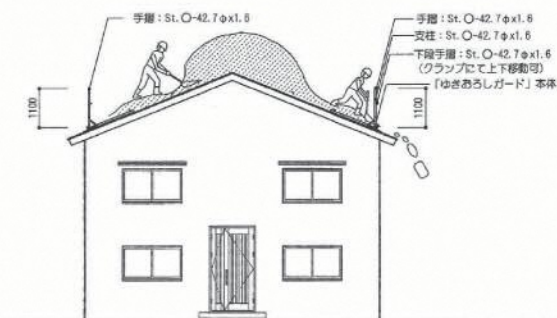
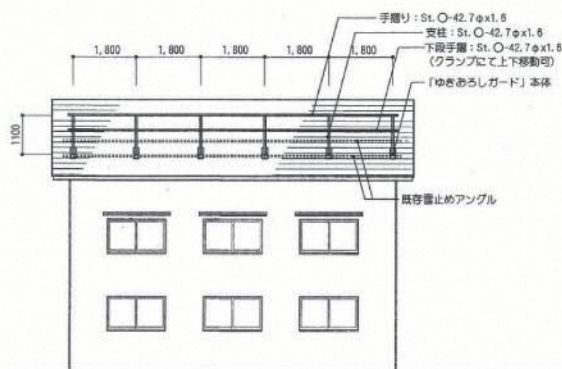


〈使用状況〉



〈無雪期の様子〉

雪止めアングルに固定する



現地確認

1日

材料 調達・制作

60日

施工

1日

● 屋根形状、雪止めアングル
設置状況の確認。

● 転落防止柵接続金物の制作。
● 溶融亜鉛メッキ等の防錆処理。

● 材料を屋根に上げれば、
屋根上のみで取付作業可能。

※材料には、耐候性の高い溶融亜鉛メッキ処理を実施。 ※記載内容は、あくまで設置事例における情報。

アンカー設置の補助制度のご案内

●特別豪雪地帯を有する市町村のいくつかで、アンカー設置の補助制度を実施しています。

●補助対象、補助金額などの詳細については各市町村の窓口にお問い合わせください。

お住まいの住宅の状況によるため、一概には言えませんが、アンカー設置には15～20万円程度の工事費が必要です。屋根形状が複雑な住宅や、大きな住宅では工事費用も大きくなります。工事費用の大きさが、アンカー設置を躊躇する理由の一つとなっていることから、県では、特別豪雪地帯を有する市町村にアンカー設置に対する補助制度の創設を働きかけるとともに、補助を行う市町村に財政支援を行っています。

令和3年度から令和5年度までの間に、
700戸以上が補助を受けてアンカーを設置しました。

各市町村の窓口については右の二次元コードまたは下記URLからご確認ください。
<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/jutaku/1356838728905.html>



各市町村の窓口は
こちらから



アンカーを使った人、設置した人の声



最初は邪魔に感じていたが、命綱をつけると安心する。
(50代・雪かき歴40年)



命綱をつけるなんてかっこ悪いなんて言われたが、命には代えられない。
(70代・雪かき歴50年)



命綱があるので、自然に、棟と平行方向に作業を進めることになるので安全。
(40代・雪かき歴20年)

アンカーを屋根に設置したので屋根雪下ろしを業者に安心して頼めます。
(70代・1人暮らし)



屋根雪下ろしに慣れていない若者が集落に戻ってきたのをきっかけに、集落センターにアンカーをつけたよ。(某集落・自治会長)



雪がたくさん積もってもアンカーを見つげられるように支柱の高さを2mにしたよ。
(60代・雪かき歴40年)



除雪ボランティア「スコップ」

●除雪ボランティア「スコップ」の登録者を県内外から募集しています。

●集落単位での希望を受付け、除雪ボランティア派遣を県でコーディネートしています。

県がコーディネートする除雪ボランティア「スコップ」は、高齢者等の除雪困難世帯の除雪作業を行います。家屋周りの除雪が活動の中心ですが、アンカーが設置された住宅で、安全確保できる場合に限り、屋根雪下ろしを行う※こともあります。

※屋根雪下ろしを行うボランティアは、右記の条件を満たす必要があります。・「越後雪かき道場」の中級以上の講習を修了している。・ヘルメットと命綱を装着する。



県は、安全な屋根雪下ろしの方法について、「越後雪かき道場®」から講師を招き、座学と実践による講習を行っています。



「越後雪かき道場」の講習を受ける「スコップ」のメンバー



除雪ボランティア「スコップ」ロゴ

ご協力
ありがとうございます！
わん！



問合せ先：新潟県 地域政策課（電話025-280-5088）

詳細は、右の二次元コードまたは右記URLからご確認ください。
<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/chiikiseisaku/yukivolunteer.html>

【小規模タイプ】 比較的、少ない部材を用いた小規模工事によるアンカー



軒下の母屋に金具を取り付け、ワイヤーを張る



破風に金具を取り付け

【低支柱タイプ】 支柱の低いアンカー



単管パイプを使用



小径パイプを使用



列状に単管パイプを配置

【その他の使い方をするアンカー】 上記以外の使い方や別機能との併用タイプ



支柱に直接命綱を固定する



雪底防止フェンスを兼ねる



雪止めを兼ねる



命綱固定アンカーガイドブック 第4版 (令和6年3月)

新潟県土木部都市局建築住宅課

所在地:〒950-8570 新潟県新潟市中央区新光町4番地1
TEL:025-280-5442(直通) FAX:025-285-6840
E-MAIL:ngt160030@pref.niigata.lg.jp
URL:https://www.pref.niigata.lg.jp/jutaku/

新潟県知事政策局地域政策課

TEL:025-280-5088(直通)
E-MAIL:ngt000200@pref.niigata.lg.jp

【協力】 魚沼市建築組合、越後雪かき道場®

【監修】 長岡技術科学大学大学院教授 上村 靖司



雪下ろし大好き
命綱犬アンカーちゃん